



## まちひと百景

### ヒップホップダンス体験

10月26日(火)苫前小学校でヒップホップダンス体験が行われた。

(公財)北海道文化財団のアドバイザー派遣事業により、札幌市のダンススタジオマインド所属の仙庭弘晶氏が普段体験することのないヒップホップダンスを指導した。

ダンスの基礎的な体の動かし方を学び、音楽に合わせてダンスステップを踏んだり子ども達は笑顔で身体を動かしていた。

- シリーズ苫前商業高等学校 ほか…2
- 地域学校協働活動「野山の探検」 ほか…3
- 学校祭・学芸会 ほか…4
- 地域社会貢献事業 ほか…5
- 健康ばんざい…6
- 地域包括ケアだより…7
- 後期高齢者医療ガイド…8
- 国民年金 ほか…9
- とままえ社協だより…10~11
- 学びの広場…12
- 住まいる情報…13~15
- 議会だよりNo.125…16~21
- 中学生ギャラリー…22

苫前町  
議会だより  
合併号

### まちの人口

人口/2,910人(男/1,404人:女/1,506人)  
世帯数/1,481世帯 (10月31日現在)

### 「34年ぶりに制服がリニューアル!!」

夏場の軽装による冷房節約のためのクールビズ、暖房による二酸化炭素排出の増加を抑えるためウォームビズが始まったのが、平成17年。すっかり定着していますが、学生服については、デザインや校則により、世の中の動きほど進んでいないのが現状です。

昨年度の生徒総会にて、生徒たちから制服に関する要望が出されたことをきっかけに、打ち合せを重ねてきました。今年度は、夏場のポロシャツ導入、女子はスカート一択だったものをズボンも選択できるようになりました。次年度の入学生から、さらに快適さを求めて、洗濯機丸洗いOKの生地を採用し、性別関係なくワイシャツにネクタイとし、軽さと保温性を高めたニットベストを導入、袖口には夜間に光るしかけが施されています。快適と安全、自由さを高め、なおかつ生地の柄は今までと同様の千鳥格子柄を採用し、伝統を引き継いだ制服に仕上がりました。価格も従来から若干下がります。生徒たちからは「自分も着たい!」「新入生がうらやましい!」という高評価。次年度からは、制服の着こなしを通して、「環境」「健康・安全」「社会性」を培う取組を始めます。苫前中学校、古丹別中学校の皆さんに、ぜひ本校の制服を着て欲しいと願っています。

文・写真：苫前商業高校地域連携委員：瀧川直子



### サイクルラックづくり ~苫前商業高等学校~



製作の前にサイクルラックの設置箇所の検討としてワークシヨップが行われ、町内のどこに立ち寄ってもらいたいのかなど、それぞれのグループで話が弾んでいた。

10月5日(火)苫前商業高等学校(藤田和秀校長)で町教育委員会、シールニックバイウエイ北海道萌える天北オロロンルート運営代表者会議と協働によるサイクルラックの製作が行われた。生徒を中心に角材の裁断、穴あけ、塗装から組み立てと電動ドリルなどの工具を使用し大人たちの手も借りて仕上げていった。

### 十勝造形サークル委員長賞受賞 ~第27回馬の絵作品展~

北海道で唯一の全国規模の作品展「馬の絵作品展」で古丹別中学校(西山智章校長)の秋山美海さん(3年)が十勝造形サークル委員長賞を受賞。また同中学校から西胡春さん(3年)と桧森徹平くん(3年)の2人も佳作に選ばれた。

十勝造形サークル委員長賞に選ばれた秋山美海さんは「3年間勉強したグラデーションや色塗りをこの作品に生かした」と桧森徹平くんは「足や脇腹の毛並みを上手く彩色できた」、西胡春さんは「背景の彩色がとてもよくこの作品で生かした」とコメントした。また、苫前中学校(明田豊校長)から山口太雅くん(3



年)も同作品展にて佳作に選ばれた。山口太雅くんは「顔の表情が上手く描くことができた。光と影の区別をはっきりさせることが難しかった。百点満点の出来栄え」と話していた。

山口くんは、昨年実施された北海道主催の税をテーマにしたポスターで北海道教育委員会教育長賞にも入選している。美術の指導をしている梅原賢伸教諭は「日本全国から上手な作品が出品される中で佳作に選ばれることは大変すごいこと」と話し、「大切なのはできるまででなく、他人に評価されること。苫前や古丹別からも受賞者がでて嬉しい」と喜んでいました。

作品展の作品は11月13日(土)~21日(日)に「木田金次郎美術館」、12月11日(土)~25日(土)に「帯広信用金庫ふれあいギャラリー」へ展示される。

## 野山の探検 ～サンケベツ遊々の森～



10月13日(水)苦前小学校(熊倉一弘校長)の1年生、2年生合わせて22人、10月25日(月)に古丹別小学校(山口清敏校長)の1年生4人がサンケベツ遊々の森で地域学校協働活動「野山の探検」が行われた。

講師は、留萌南部森林管理署森林技術指導官が務め、安全に森を散策するための指導のもと、森に生息している生き物や木、花についての説明を受けながら自然と触れ合い関心を高めていた。

児童たちは、森や生き物に関する説明を興味深く聞いている様子だった。午後には、森で拾ってきた落ち葉や枝、木の実などを活用して万華鏡づくりも行った。

## 稲刈り体験 ～苦前小学校・古丹別小学校～



苦前小学校



古丹別小学校

10月15日(金)苦前小学校(熊倉一弘校長)、古丹別小学校(山口清敏校長)の両校の5年生22人が各校庭の水田で稲刈りと脱穀の体験を行った。

るもい農業協同組合苦前支所青年部、共済組合苦前支所、苦前土地改良区、農業改良普及センター職員が講師として協力した。

児童たちは、前日の雨の影響で泥に足を取られながらも自分たちで植えた稲を刈り取っていた。刈り取った稲は脱穀機を使用しての脱穀を体験した。一瞬にして米と茎が分かれる様子を見て驚きの声を上げていた。

稲刈り・脱穀体験を終えた児童たちは「最初は簡単と思ったが、実際に鎌で切るのが難しかった。脱穀機は引く張られそうで大変だった」とそれぞれ話していた。

## 水産加工場見学 ～(株)丸や岡田商店～



10月21日(木)苦前小学校と古丹別小学校の3年生合わせて17人が苦前の産業を学習する地域学校協働活動「水産加工場見学」が行われた。

講師の諸貫雄治さんから、ニシンの選別作業や冷凍庫、数の子の加工工程の説明や生産ラインを見学して、2種類の数の子を食べ比べとして試食した子ども達は「おいしい」と喜んでいました。

質疑応答では「主にどこへ出荷されているか。形が悪い数の子はどのようにしているのか」などの多くの質問に対し、諸貫さんは一つ一つ丁寧に答えていた。

## 苦前商業高等学校 創立70周年記念式典



10月2日(土)苦前商業高等学校にて創立70周年記念式典が行われ、全校生徒や教員に加え、歴代校長や福士町長、町議会議長など総勢90人余りが参加した。

創立70周年という節目に当たり藤田和秀校長は「本校が70周年を迎えられたのは、苦前町という地域の限らない本校へのご支援ご協力があったからこそ。地域のご支援をいただきながら、校訓である「自主自律」の気概を持って新しい道を見つけ、逞しく生きることが出来る人材の育成に誠心誠意取り組む所存」と式辞を述べた。

式典では、歴代の校長などへ感謝状の贈呈が行われた。

## 空気清浄機フィルターを寄贈 ～社団法人留萌地方法人会苦前支部～



古丹別こども園



苦前こども園

社団法人留萌地方法人会苦前支部(千葉勇一支部長)は10月20日(水)認定古丹別こども園(川森のり子園長)、認定苦前こども園(青木久美子園長)の両こども園へ社会貢献事業として、昨年度に新型コロナウイルス対策にと寄贈した空気清浄機の替えフィルターを寄贈した。

千葉支部長は「これからも風邪や新型コロナウイルスなどの感染症に気をつけて元気に過ごしてください」と手渡していた。

また、寄贈を受けた両園長は「空気清浄機のフィルター交換の時期が近付いていたので大変助かった。充実した保育環境の維持に大変ありがたいです」と感謝を述べていた。



**古丹別中学校文化祭 10月3日(日)**  
take one step～一瞬一瞬が最高の思い出～

**苫前中学校学校祭 10月2日(土)**  
お客さん!みなさん!笑顔たくさん～距離は遠く、心は近く～



**古丹別小学校学芸会 10月10日(日)**  
～心を一つに笑顔と感動の最高の舞台～

**苫前小学校学芸会 10月9日(土)**  
～苫小パワーで最高の学芸会を～

**タオルやミルクストローなど寄贈 ～モーモーみるく倶楽部～**



10月21日(木)町内の酪農家の女性たちで活動しているモーモーみるく倶楽部(小林康子代表)が牛乳消費拡大の一環でPRグッズの寄贈が行われた。小林代表ほか会員5人が町役場教育長室を訪れ、ティッシュやファイル、牛乳の味がチョコなどに変わるミルクストローなど町内の小中学校や高校の児童・生徒、各子ども園の園児全員分のPRグッズを開発教育長へ手渡された。

PRグッズの配付について小林代表は「子どもたちに一杯でも多く牛乳を飲んでもらい元気な体を作ることが、子どものため親のため、そして苫前町のためと思い配布させていただきました」と話した。

## 古丹別小学校屋外照明灯の清掃 ～下村電気(株)～

一般国道239号苫前町霧立峠トンネル照明設置工事を実施している下村電気株式会社（下村正典代表取締役）が古丹別小学校の屋外照明灯9か所の清掃を8月2日(月)に地域社会貢献事業として実施していただきました。

ありがとうございました。



## アジサイ冬囲いに製材の寄贈

～ハラダ・橋場・北海道三菱JV～

臨海配水池更新工事を実施のハラダ・橋場・北海道三菱経常建設共同企業体が苫前3丁目線に植栽されているアジサイの苗木の冬囲い用の製材を地域社会貢献事業として寄贈していただきました。

ありがとうございました。

## 苫前パークゴルフ場の駐車場整地 ～ハラダ工業(株)～

ハラダ工業株式会社（藤野徹弥代表取締役）が10月9日(土)に苫前パークゴルフ場の駐車スペースの砂利敷きによる整地を地域社会貢献事業として実施していただきました。

ありがとうございました。



## 特設人権心配ごと相談所開設のお知らせ

12月4日～10日までの人権週間にあわせて人権問題や心配ごとなどに関する相談所を次のとおり開設します。

日ごろからお困りやお悩みごとがありましたら、この機会にお気軽にご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

家庭内の問題（結婚・離婚・扶養・相続・暴力）、子どもの問題（いじめ・体罰）、他人とのもめごと（騒音・金銭トラブル）、偏見や差別など、どんなことでも相談にのります。

と き	と ころ	相談にあたる委員
12月4日(土)10時～12時	苫前地区コミュニティセンター	人権擁護委員 竹橋 広顕
12月4日(土)10時～12時	苫前町公民館	人権擁護委員 草薙 勇

留萌人権擁護委員協議会・旭川地方法務局留萌支局・苫前町



「広報とままえ」では、身近な珍しい出来事、珍品、作品などのほか広報誌に対するご意見などもお待ちしております。

総合政策室総合政策係  
☎0164-64-2040  
メール  
sogo@town.tomamae.lg.jp

## 変わった形のかぼちゃが採れました!!



変わった形のかぼちゃが採れたと公民館に2つ届きロビーに展示されていました。

とままえの秋の味覚のひとつですが、みなさんはどんな料理されていますか？



健康ばんざい

冬の感染症対策  
冬に注意したい感染症と対策

今月の担当は 佐々木保健師 です

冬にはインフルエンザやノロウイルスを中心とした感染症が流行します。正しい予防で健康を守りましょう。

インフルエンザ

飛沫感染・接触感染でうつり、非常に感染力が強い感染症です。子ども、高齢者、免疫が低下している方では、肺炎など重症化することがあります。日本では、例年12月～3月に流行するため、感染が流行している時期には人込みを避けるなど感染対策を行う

ことが望ましいです。  
\* 飛沫感染：人の咳やくしゃみで飛んだ飛沫を、別の人が口や鼻から吸い込んでウイルスが体内に入りこむことで直接的にうつる。  
\* 接触感染：感染した人が咳を手で押さえた後や鼻水をぬぐった手で触れた場所に別の人が触れて飛沫が手に付着することで間接的にうつる。

【予防のポイント】

①こまめな手洗いをしましょう  
昨年から流行している新型



コロナウイルス対策の1つとして「手洗い・消毒」を徹底していると思いますが、インフルエンザ予防にも効果的です。帰宅後・食事前などこまめな「手洗い・消毒」を心がけましょう。

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれないので、「せきエチケット」を心がけましょう。①くしゃみや咳をするときは、ティッシュなどで口と鼻をおおう。

②免疫力を高めましょう  
免疫力が弱っていると、感染しやすくなったり、症状が重くなる恐れがあります。普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。

②顔をそらして、他の人から近づかないようにする。  
③マスクをする。

＜マスクをするときの注意点＞

③予防接種を受けましょう  
ワクチンを接種することで、感染や重症化を防ぐことが出来ます。

新型コロナウイルス対策のため、普段からマスクをして外出していると思いますが、せっかくマスクをしていても正しい方法でないとい効果は期待できません。  
• 鼻の部分に隙間はないか？  
• あごの部分がでていないか？  
• 不織布マスクの使いまわしを避ける

④「食品からの感染」を防ぎましょう  
加熱して食べる食材は中心部までしっかりと火を通しましょう。二枚貝などノロウイルス汚染のおそれのある食品の場合、ウイルスを死活させるには、中心部85～90℃で90秒以上の加熱が必要とされています。また、まな板、包丁、食器、ふきんなどの調理器具は、使用後にすぐ洗うなど、清潔にしましょう。調理器具では、熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱消毒が有効です。

④「食品からの感染」を防ぎましょう  
加熱して食べる食材は中心部までしっかりと火を通しましょう。二枚貝などノロウイルス汚染のおそれのある食品の場合、ウイルスを死活させるには、中心部85～90℃で90秒以上の加熱が必要とされています。また、まな板、包丁、食器、ふきんなどの調理器具は、使用後にすぐ洗うなど、清潔にしましょう。調理器具では、熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱消毒が有効です。

↓一般的に5カ月程度といわれていきます。  
• いつ頃ワクチンを受けるのがいい？  
↓例年12月～4月に流行し、1月～3月上旬に流行のピークを迎えます。12月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいです。

ノロウイルス  
年間の食中毒の原因の半分以上をしめています。食中毒というと夏に多いイメージがありますが、ノロウイルスは11月～2月で発生し、12月～1月にピークとなる傾向にあ

◆「せきエチケット」で感染予防！

自分の身を守るための予防だけでなく、誰かにうつさないための予防も大切です。

ノロウイルス  
年間の食中毒の原因の半分以上をしめています。食中毒というと夏に多いイメージがありますが、ノロウイルスは11月～2月で発生し、12月～1月にピークとなる傾向にあ

## ★ 苫前町内の介護保険サービス事業所について ★

今回は、町内にある介護保険サービスを提供している事業所について、まとめてみました。

	サービス種類	事業所・住所	電話番号
在宅等	訪問介護 訪問型サービス（従前相当・A）	苫前町ヘルパーステーション 苫前町字旭37番地の1	64-2387
		訪問介護事業所なごみ 苫前町字古丹別247番地の1	68-7395
	地域密着型通所介護	苫前町デイサービスセンター 苫前町字旭105番地の7	64-2480
	短期入所生活介護	苫前幸寿園 苫前町字旭105番地の7	64-2076
	居宅介護支援	苫前幸寿園ケアプランセンター 苫前町字旭105番地の7	68-7080
		居宅介護支援事業所なごみ 苫前町字古丹別247番地の1	68-7395
	通所型サービス（A）	苫前町生きがいデイサービスセンター 苫前町字旭105番地の7	64-2680
介護予防支援 介護予防ケアマネジメント	苫前町地域包括支援センター 苫前町字旭37番地の1	64-2215	
施設等	介護老人福祉施設	苫前幸寿園 苫前町字旭105番地の7	64-2076
	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護	グループホーム優芽 苫前町字古丹別249番地の9	65-3013

一部のものを除き、介護保険のサービスを利用するときには、要介護（要支援）認定を受ける必要があります。

申し込み手続や、日常生活での不安・困っていることがあれば、お気軽に地域包括支援センターまで御相談・お問い合わせください。

### ■ 除雪サービス事業のお知らせ

町内在住の、70歳以上の方や、要介護者等または身体障がい者の単身世帯若しくはこれらの方のみからなる世帯に属する方を対象に、令和3年12月から令和4年3月までを事業期間とする「除雪サービス事業」の取りまとめを行っております。

新しく利用を希望される方は、町保健福祉課及び古丹別支所窓口にて備え付けの利用申請書によりお申し込みください。

### ◆ 事業のお知らせ ◆

12月8日(水)午前9時30分よりとままえ温泉ふわっとにおいて「ふれあい倶楽部」が開催されます。今回は「お正月しめ縄作り」と「ふまねっと運動」を行う予定です。

お問合せ 苫前町地域包括支援センター ☎64-2215



つくろう健康 幸せの未来づくり

## 後期高齢者医療ガイド

## 医療費通知について

広域連合では被保険者の皆様の医療費総額などについてお知らせする「医療費通知」を年2回、対象期間に医療機関等を受診した全ての被保険者の皆様へ送付します。

これは、医療機関の窓口でお支払いいただいた自己負担分を除いた医療費は、後期高齢者医療制度から支払われていることを具体的に理解していただくとともに、健康管理の重要性を意識していただくことで、医療費の適正化、ひいては被保険者の皆様の負担軽減を図ることを目的としています。

## ◆医療費通知の活用例

医療費の推移が把握でき、ご自身の健康状況の把握や健康管理に活用できます。健康診査など、皆様の健康増進に役立つ情報をお知らせします。診療日数等に間違いがないか確認しましょう。

## 【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関名称等	診療区分	日数	医療費の総額	自己負担額	食事療養・生活療養費		
						回数	費用額	標準負担額
令和3年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800			
令和3年2月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000			
令和3年3月	△△病院	医科入院	5	202,000	20,200	15	11,490	5,400
合計				230,000	23,000		11,490	5,400

## ◆医療費控除の申告について

このお知らせは、医療費控除の申告手続で医療費の明細書として使用することができます。医療費控除の申告に関することは、税務署にお問い合わせください。

## ◆注意事項

医療機関等の請求遅れや請求内容を審査中のものなど一部の受診記録が記載されていない場合があります。自己負担額は、医療費助成等を受けている場合など、記載されている金額と実際にご自身が負担された金額が異なる場合があります。

このお知らせは、皆様の受診状況についてお知らせするものであり、請求書ではありません。また、特に手続きなど行っていただく必要はありません。

## ◆発送月・対象診療月

発送月	診療月
令和4年1月(上旬)	令和3年 1月～ 9月
令和4年2月(下旬)	令和3年10月～12月

## 口の健康から、からだの健康へ

お口の健康は、からだの健康にも大きく影響します。歯周病は、糖尿病や心筋梗塞などの病気の悪化や肺炎の原因にもなると言われています。また、よく噛むことは、脳への刺激となり認知症予防や介護予防にも繋がります。お口を健康に保ち、生き生きとした生活を送みましょう。

## ◆お口の健康のために

- 食後はこまめに歯をみがきましょう  
入れ歯の手入れも大切です。歯間ブラシ等の使用もおすすめです。
  - 食事はよく噛んで食べましょう。  
ひと口、30回噛むことを目標に食べましょう。
  - 歯科健診(検診)を受けましょう。  
症状がなくても定期的に口の中をチェックしましょう。
- ※お口のことで気になることがあれば、早めに歯科医院を受診しましょう。



お問合せ先

北海道後期高齢者医療広域連合  
〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館6階  
電話 011-290-5601

苫前町役場  
住民生活課住民係  
電話 0164-64-2213



国民年金保険料は所得税法及び地方税法上、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されますが、控除の対象となるのは、令和3年中（令和3年1月1日から令和3年12月31日）に納められた保険料の全額です（令和3年中に納められたものであれば、過去の年度分の保険料や追納された保険料も控除の対象となります）。

本年中に納付した国民年金保険料について、社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、日本年金機構から、次のスケジュールで「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が対象者宛てに発送されますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

	発送時期	対象者
①	令和3年10月下旬から11月上旬にかけて順次発送	令和3年1月1日から令和3年9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方
②	令和4年2月上旬	令和3年10月1日から令和3年12月31日までの間に国民年金保険料を納付された方 （①の対象者は除きます。）

なお、ご家族（配偶者やお子様等）の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合は、ご自身の国民年金保険料に加え、その保険料についても控除が受けられます。

国民年金制度は、税法上とても有利なだけでなく、老後はもちろん不慮の事故など、万一のときにも心強い味方となる制度です。保険料は納め忘れのないようキチンと納めましょう！

マイプランをしっかりと  
国民年金  
社会保険料控除の対象です



お問合せ

苦前町役場住民生活課  
☎0164-64-2213  
留萌年金事務所  
☎0164-43-7211

国民年金の支給開始年齢（誕生日の前日）になったら、裁定請求書を役場窓口までお持ちください。  
必要な書類が不明な場合はご相談ください。

ファイヤー通信

秋の火災予防運動～車両啓発パレードを実施～



苦前市街地



古丹別市街地



全国統一防火標語

おうち時間 家族で点検 火の始末



令和3年10月15日（金）秋の全道火災予防運動の初日に苦前・古丹別両地区にて車両啓発パレードが行われた。火災予防を啓発する放送を流しながら消防車両及び苦前町危険物安全協会会員車両と共に両市街地を巡回し住民に火災予防を呼びかけた。

古丹別地区では各民間防火団体との徒歩パレードを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に続き中止となった。

社会に広げよう『被害者支援の輪』

犯罪被害に遭うということをおあなたは考えたことがありますか？

犯罪被害者の方々は、ある日突然、犯罪の被害に遭ったことで、直接的なダメージのみならず、被害後も

- 被害のトラウマによるフラッシュバック
  - 被害によるパニック障害、睡眠障害等の発症
  - 生活の立て直しや医療費などの経済的負担
  - 周囲の人からの心ない言動による二次的被害
- など様々な問題を抱えながら一人で苦しんでいることが少なくありません。

このような被害者の現状を理解し、一日でも早く被害者が問題を克服できるように寄り添い、社会全体で被害者を支えていくことができる支援の輪を広げていきましょう。

警察では、書き損じたはがき、未使用の切手・商品券、不要な本・DVD等を収集し民間被害者支援団体へ寄附しておりますので、みなさんご協力お願い致します。

■問合せ先 羽幌警察署 ☎0164-62-1110

# ほほえみ



社会福祉法人苫前町社会福祉協議会 苫前郡苫前町字旭37番地の1 苫前地区コミュニティセンター内  
TEL 0164-64-2387 FAX 0164-64-9090 ホームページ <https://www.protech-web.co.jp/homepage/tomamae>

## 紅白まんじゅう配布事業 (赤い羽根共同募金助成事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に引き続き、苫前町敬老会の開催を中止するとともに、代替事業として紅白まんじゅうの配布を9月15・16日に実施しました。

町内会や老人クラブ、民生委員をはじめとした総勢51名のボランティアの協力の下、75歳以上の在宅高齢者を対象に、628個が配布されました。

紅白まんじゅうには、「敬老の日にあたり、皆様のご長寿を心よりお祝い申し上げます。今後も新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して参りますとともに、皆様がこれからもお元気で毎日を過ごされますよう、更なるご健勝とご多幸をお祈り申し上げます」との富士町長からのメッセージが添えられました。



## 町身障協会リンゴ狩り (赤い羽根共同募金助成事業)



し、秋の果物を堪能しました。

昼食は、少し足を伸ばして沼田町のほろしん温泉ほたる館でいただき、温泉を楽しんだ方も。最後は道の駅おびら鯨番屋に立ち寄り、秋の楽しい一日を過ごし、交流を深めることができました。

9月27日、苫前町身体障がい者福祉協会(林道行会長)主催のリンゴ狩りが、会員はじめ17名の参加をいただき、増毛町パイヤの里富野果樹園にて実施されました。

天候に恵まれ、好天の下でのリンゴ狩りを楽しむことができました。また、売店ではリンゴ以外にも梨やプルーンなどを購入

## 留萌地区老連ニュースポーツ交流会

10月14日、留萌地区老人クラブ連合会主催のニュースポーツ交流会が初山別村自然交流センターにて開催されました。

第1回目となる今回は、管内各町村から全13チームが参加し、本町からは2チーム14名が参加しました。交流会の競技種目であるラダーゲッターですが、未経験の参加者が多かったため、練習会を3回実施して本番に臨みました。結果は5位と12位でしたが、参加者の皆さんには、「みんなで楽しく運動ができた」と大変喜んでいただけました。



## 第3回ふれあい倶楽部を開催しました

10月6日、今年度第3回目のふれあい倶楽部を開催しました。

26名の参加があり、午前中は西川加代子さんに講師を務めていただいていたのパステル和(なごみ)アートを楽しみ、午後からは健康運動指導士の中島まなみさんを講師に迎え、「椅子に座りながらできるヨガ体操」と題して、自宅でも一人でもできる運動を学びました。新型コロナウイルス感染症により家に引きこもりがちなることを懸念して、認知機能にも効果がある脳トレ運動も取り入れていただき、参加者は混乱しながらも楽しんでいる様子でした。

なお、次回のふれあい倶楽部は12月8日に開催の予定で、恒例の「お正月飾り」づくりと「ふまねっと運動」を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



## 赤い羽根共同募金運動のお知らせ

第75回の赤い羽根共同募金運動が、今年も10月1日からスタートしています。

今年度、苫前町共同募金委員会では目標額を1,024千円と定めていますが、コロナ禍で何かと厳しい状況の中、例年同様、町内会や学校をはじめ、たくさんの企業・事業所の皆様にご支援、ご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

引き続き、寄付金付きご当地ピンバッジの頒布に加え、劇場版「呪術廻戦0」とのコラボクリアファイルを募金300円につき1枚進呈するなどの取組も行っていきますので、よろしく願いいたします。

10月25日までに、5千円以上の募金をいただいた企業・事業所様をご紹介します。ありがとうございました。



©2021「劇場版 呪術廻戦 0」製作委員会  
©芥見下々/集英社

（尚猪股石油店、北るもい漁業協同組合苫前支所、協和建設㈱、苫前クリニック、苫前歯科診療所、橋場産業㈱、留萌信用金庫古丹別支店、留萌信用金庫苫前支店、るもい農業協同組合苫前支所 ※順不同、敬称略

なお、12月から1か月間は、全国一斉に「歳末たすけあい運動」も実施されますので、そちらへの協力も併せてよろしくお願いいたします。

## 北海道護国神社慰霊参拝（赤い羽根共同募金助成事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も北海道護国神社慰霊大祭への参拝ができなかったことから、苫前町遺族会（森晃一会長）では、10月15日に、町遺族会単独での慰霊参拝を実施しました。



会員8名の参加があり、御本殿に参内の上、塩野谷宮司による祝詞奏上、巫女の神楽舞の奉奏をいただきました。

当日は、雲ひとつない秋晴れの空の下、清々しい雰囲気の中で慰霊の祈りを捧げることができ、また、御本殿に参内するのは初めてという会員の方もおられ、親しく会員同士の交流も深めることができました。

## まちなかサロンが開催されました

まちなかサロンが9月、10月と開催され、無事に今年度の事業を終えました。

9月21日の第3回目では、社会教育課の安藤司書と長野主査をお迎えして、脳トレ問題やパネルシアター、DVDを見ながらの口腔体操などに加え、トロンボーン演奏を披露していただき、その音色に合わせて歌を歌うなどして楽しみました。

今年度最後となる10月19日の第4回目では、冒頭、富士町長からご挨拶をいただいた後、北留萌消防組合消防署苫前支署から古谷消防士、古丹別支署から逢坂消防士をお迎えして、防災についての講話と応急処置の方法について教えていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の開催回数は少なくなりましたが、多くの方にご参加いただきありがとうございました。次回は来年5月に開催の予定ですので、皆様のご参加をお待ちしています。



## 除雪ボランティアを募集しています！

社協では、高齢者や障がいのある方を対象に、通院や買い物などの外出時に支障となる、道路に面した住宅の出入口（間口）と玄関先までの通路（敷地内）を有償ボランティアが除雪する福祉除雪事業を実施します。

この事業は、単に除雪を行うだけでなく、利用世帯の方の見守りにも繋がる活動となっています。

今冬の事業活動に、有償ボランティアとしてご協力、ご参加いただける個人や団体、企業の方を次のとおり募集しますので、ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

### ○活動内容（予定）

活動期間	令和3年12月1日(水)～令和4年3月31日(木)
除雪日時	道路除雪が行われた日の12時(正午)ころまで(原則1日1回)
除雪範囲	間口は幅1m50cm、敷地内は歩行に支障のない幅80cm
担当世帯	1世帯から可。1世帯の除雪を複数の方で担当いただくことも可。

○活動費 活動期間の1月ごとに、作業1時間につき1,200円を支払います。  
(確認のため、作業日報を作成いただきます)